

指定管理者評価委員会の評価結果（令和2年度）

令和2年8月31日

評価対象	施設名		みのかも健康の森	
	設置目的・役割等		・保健、保全機能の発揮される森林の整備 ・市民の自然保護意識の高揚及び教育文化の向上	
	施設の所在地		美濃加茂市山之上町7559番地	
	規模等	敷地面積	1,069,268 m ²	担 当 課
		延床面積等	1,061.56 m ² (鉄骨造 1階階建て 等)	農林課
	指定管理者名		可茂森林組合	
	指 定 期 間		平成 28 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日 (公募(任意指定))	

評価委員 (敬称略)	日本福祉大学 IR推進室 専任研究員 笹川 修 名城大学 都市情報学部 教授 赤木 博文 岐阜協立大学 経済学部 准教授 藤井 えりの(欠席) 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 上席主任研究員 田中 三文 コンサルティングシスト 代表 伊藤 慎悟
---------------	--

更新に関する評価(更新時のみ)

① 指定管理者制度による管理運営を継続することについて	<input checked="" type="checkbox"/> 1 特に問題がなく、指定管理施設として継続すべき <input type="checkbox"/> 2 改善が必要な事項はあるが、指定管理施設として継続するのが適当 <input type="checkbox"/> 3 再考の余地がある(直営、民営化、他の用途での活用等) <input type="checkbox"/> 4 施設の在り方も含めて再考すべき <input type="checkbox"/> 5 その他()
	(理由) 指定管理施設として継続することについては、特に問題はない。
② 指定管理者の更新(再指定)について	<input checked="" type="checkbox"/> 1 特に問題がなく、現在の指定管理者による運営を継続すべき <input type="checkbox"/> 2 改善が必要な事項はあるが、現在の指定管理者による運営を継続するのが適当 <input type="checkbox"/> 3 別の指定管理者への変更を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 4 別の指定管理者へ変更すべき(任意指定ではなく公募すべき) <input type="checkbox"/> 5 その他()
	(理由) 平成29年度に中間審査を実施したときと比較して、様々なイベントや事業を行っており、食堂やホームページ、パンフレットをリニューアルするなど改善が見られる点で、非常に評価できるため、可茂森林組合による運営を継続すべきである。ただし、事業収支が赤字である点については、今後の経営努力に期待したい。

総合評価結果

二次評価

B

(評価委員会の意見・提言・評価結果)

●前回の中間審査(平成 29 年度)との比較により評価できる点

- ・入園者数が 7 万人にまで増加していること。
- ・ホームページ等による情報発信について、魅力的な内容で更新されていること。
 - 実際の建物と新たなパンフレットのデザインの統一感が出ており、改善されている。
- ・園内が、明るく清潔になったイメージを持てること。
- ・食堂のリニューアルも評価できる。

●現状評価

- ・小さなことから地道に積み重ね、一所懸命に経営努力をしていることが感じられ、非常に評価できる。
- ・特に、様々なイベントや事業により、活性化を図られていることは評価できる。

●今後に向けて

- ・新たな健康の森のイメージが浸透するまでには3年程度はかかると考えられる。
- ・コロナ禍においては、アウトドアやネイチャー型のレジャーが見直され、注目されている。これにより、健康の森の特徴を活かすチャンスが来ているとも考えられる。従来とは異なる切り口により、健康や癒しなどを検討し、三密回避公園のようなイメージで売り出すことも一案である。これを機会に、原点に立ち戻り、健康の森のマーケットを改めて分析を行う等、再整理することで、さらにより施設になると考えられる。
- ・特に、健康の森のバーベキューでは、子供連れやお年寄りだけでも安心して利用できるという点等、リバーポートパーク利用者との棲み分けは可能であると考えられる。
- ・ハード面については、指定管理者だけでは限界があるため、市の支援とともに3年程度の計画により、よりよい施設を目指して欲しい。

要改善・勧告事項

(指定管理者に対する要改善・勧告事項)

- 今年から来年にかけてコロナの影響でさらに厳しくなると思うが、平成 29 年度から事業収支が赤字であるため、数値に見えるような成果が出せるように今後の経営努力に期待したい。
 - コロナ禍においては、民間企業の経営意識を持つことが重要である。
 - ・民間企業で取組んでいるコロナ対策を参考にしながら、市との連携を含め、職員全員で知恵を出し合いながら運営してほしい。
- 例)バーベキューの貸し切り、美濃加茂市を応援する取組み(地産地消の食材の提供)等
- ・民間企業の一事業者的な感覚を持つことが、知恵やアイデアの創出に繋がる。

(美濃加茂市に対する要望事項)

- 平成30年度から令和元年度にかけて順調に赤字が減少し、利用収入が伸びていくというときにコロナ禍になってしまったことは、非常に残念である。美濃加茂市には、指定管理者に対しての支援をぜひお願いしたい。
- リバーポートパークとの棲み分けや、健康の森のマーケットを整理しなおすために、各施設のアンケート結果を比較して眺めてみると、健康の森の特徴が見えてくるのではないかと。そのためには、担当課は指定管理者に他の施設のアンケート結果の情報を提供するなどして、指定管理者とともに頑張ってもらいたい。

●二次評価の判定基準

- A(優 良)= 施設の維持管理・運営を適正かつ効率的に行い、サービス・費用対効果の向上及び利用者数の増加を図る具体的な取り組みを積極的に実施している。
- B(良 好)= 施設の維持管理・運営を適正に行い、サービス・費用対効果の向上及び利用者数の増加を図る具体的な取り組みを一部実施している。
- C(課題有)= 施設の維持管理・運営を適正に行っているものの、一部課題があり、サービス・費用対効果の向上及び利用者数の増加を図る取り組みもあまり見られない
- D(要改善)= 施設の維持管理・運営に問題があり、早急な改善・勧告が必要である